

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、別掲の項目におきまして、定期的な見直しにともない検査内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、次頁以降の内容をご参照願います。

- ・「検査 No2011-38」、「検査 No.2012-01」のお知らせでご案内しました内容につきましても、平成24年度の定期的な見直し内容として、併せて再掲載させていただきました。

保健科学グループ



株式
会社 **保健科学研究所**

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

い か が く 小 田 原 衛 検
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所
保健科学東日本 ケーアイエー細胞病理研究所
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所
組織科学研究所 相模医研
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター
東部メディカルセンター

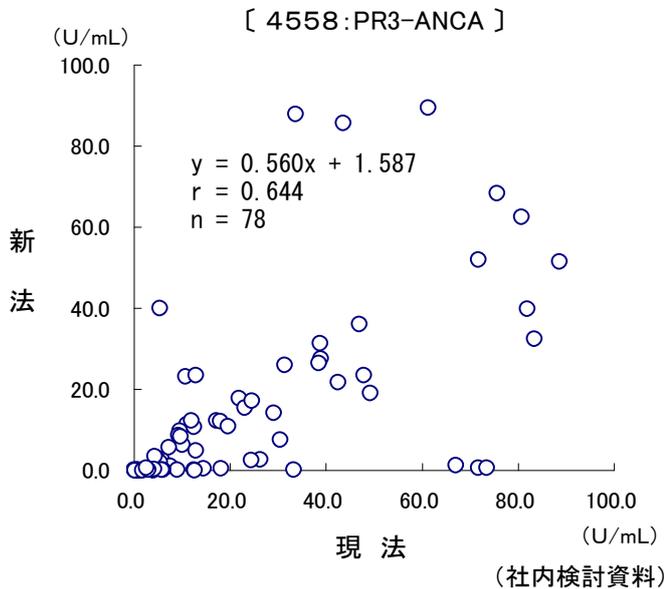
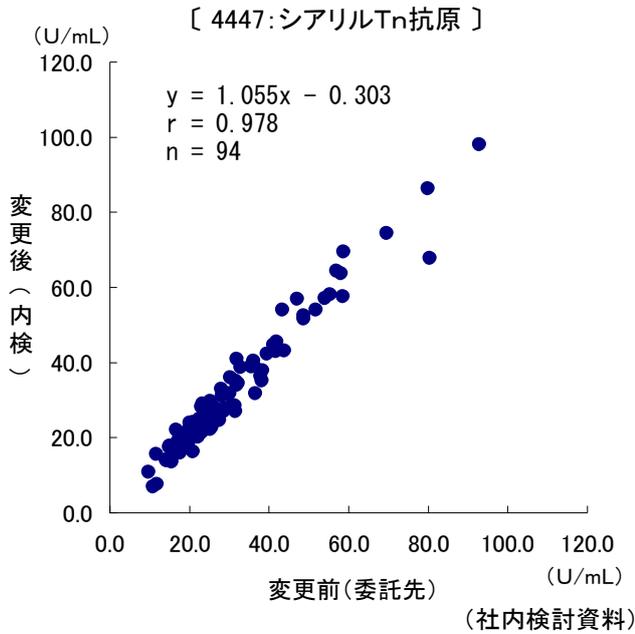
平成24年3月29日(木)の最終受託をもって中止

項目コード	検査項目	中止理由	代替項目	検査案内書掲載ページ
5007	アルギニンバゾプレッシン(AVP) (抗利尿ホルモン)(ADH)	試薬販売中止	-	25

平成24年4月2日(月)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ	
4447	シアリルTn抗原 (STN)	所要日数	2～5日	4～7日	委託検査から 内部検査へ変 更します。 検査方法は、 表記のみの変 更です。	42	
		検査方法	RIA(ヒース固相法)	RIA法			
		報告桁数	少数点第1位	有効桁数 3桁 少数点第1位			
		検査場所 (略号)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)	三菱化学メディエンス (*1)			
4558	細胞質性抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA)	項目名称	PR3-ANCA (C-ANCA, 抗好中 球細胞質プロテ ナーゼ3抗体)	細胞質性抗好中球細胞質 抗体 (PR3-ANCA)	現行試薬の販売中止のため、 試薬を変更しま す。	77	
		検査方法	CLEIA 法	EIA 法			
		報告上限値	350.0 以上 U/mL	999999.9 U/mL			
		報告下限値	1.0 未満 U/mL	3.5 未満 U/mL			
4384	MPO-ANCA (P-ANCA, 抗好中球 細胞質ミエロペルオ キシダーゼ抗体)	検査方法	CLEIA 法	EIA 法			
		基準値	3.5 未満 U/mL	9.0 未満 U/mL			
		報告上限値	300.0 以上 U/mL	999999.9 U/mL			
		報告下限値	1.0 未満 U/mL	1.3 未満 U/mL			
2068	プロテインS活性	保険点数 (実施料)	170 点	未保険	使用試薬の保 険適用のため	91	
5774	ピロニック試験 (尿素呼気試験)	受託形態	〈非定型受託項目へ変更〉		ユービットの定 型受託に伴う変 更	121	
5105	ビタミンA (レチノール)	保存条件	冷蔵・遮光	凍結・遮光		18	
5298	ビタミンB ₆						
5767	塩酸ピルメノール		冷蔵	凍結		委託先におけ る見直しによる	96
5770	アミオダロン						
4437	オリゴクローナルバンド						

▼ 検査場所の変更前後の比較

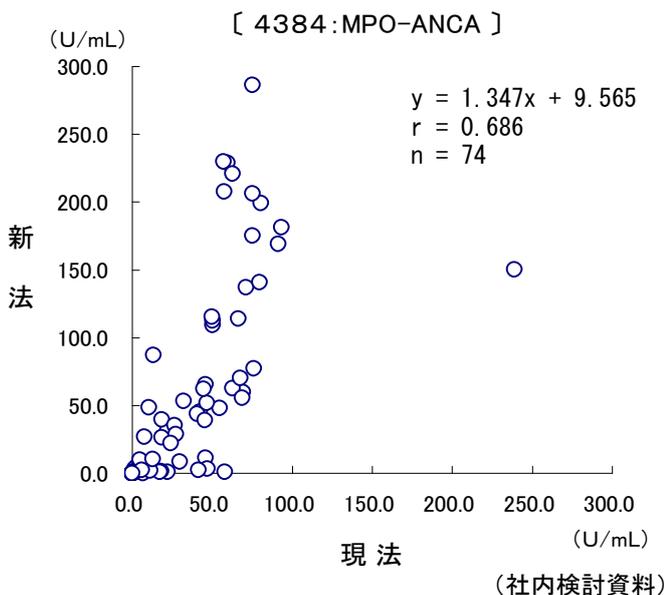


[PR3-ANCA]

n = 78		現法	
		(+)	(-)
新法	(+)	37	0
	(-)	23 ※1	18

陽性一致: 61.7%
 陰性一致: 100.0%
 全体一致: 70.5%

- ※1 試薬メーカーにて検証した結果は、次の通りでした。
- ① IF法によって、18例は陰性、2例はP-ANCAの陽性：現法の特異反応による陽性が示唆されます。
 - ② IF法によって、3例はC-ANCA陽性：PR3-ANCA以外のC-ANCA等々が示唆されます。



[MPO-ANCA]

n = 74		現法	
		(+)	(-)
新法	(+)	41	7 ※2
	(-)	7 ※3	19

陽性一致: 85.4%
 陰性一致: 73.1%
 全体一致: 81.1%

- ※2 試薬メーカーにて検証した結果は、次の通りでした。
- ① IF法によって、5例はP-ANCA陽性：新法の結果を指示する判定です。
 - ② IF法によって、2例は陰性（1例はカットオフ値近辺）：低濃度のMPO-ANCAと新法の特異反応が示唆され
- ※3 試薬メーカーにて検証した結果は、次の通りでした。
- ① IF法によって、5例は陰性：現法の特異反応による陽性が示唆されます。
 - ② IF法によって、2例はP-ANCA陽性：MPO-ANCA以

▼ 参考文献

PR3-ANCA、MPO-ANCA : 松下 雅和, 他 : 医学と薬学 66(5) : 823~838, 2011. (検査方法・基準値)

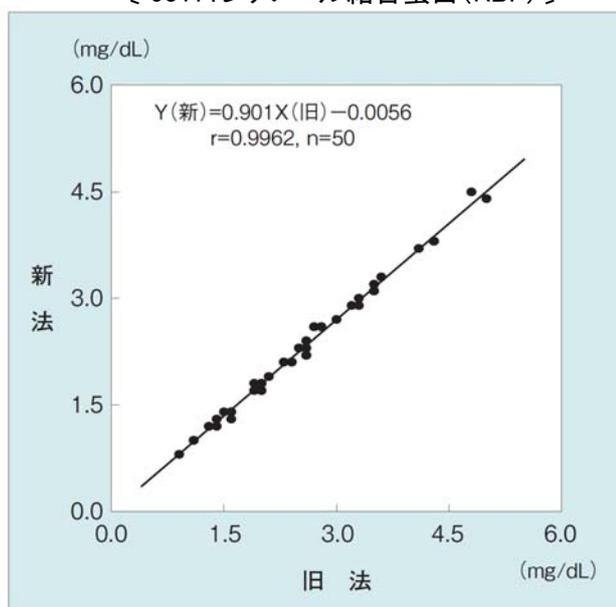
◆ 以下は、以前に配布致しましたお知らせの再掲載で

平成24年3月31日(土)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
5317	レチノール結合蛋白 (RBP)	検体必要量	0.3 mL	0.5 mL	委託先における、検体量の削減等を目的とした変更です。尚、基準値は文献引用値です。	18
		検査方法	ラテックス凝集比濁法	ネフロメトリー法		
		基準値	M 2.7 ~ 6.0 F 1.9 ~ 4.6 mg/dL	2.9 ~ 7.9 mg/dL		
2414	トロンボモジュリン	検査方法	CLEIA 法	EIA 法	検査委託先における、現行試薬の販売中止に伴う変更です。	90
		基準値	12.1 ~ 24.9 U/mL	10.4 ~ 23.4 U/mL		

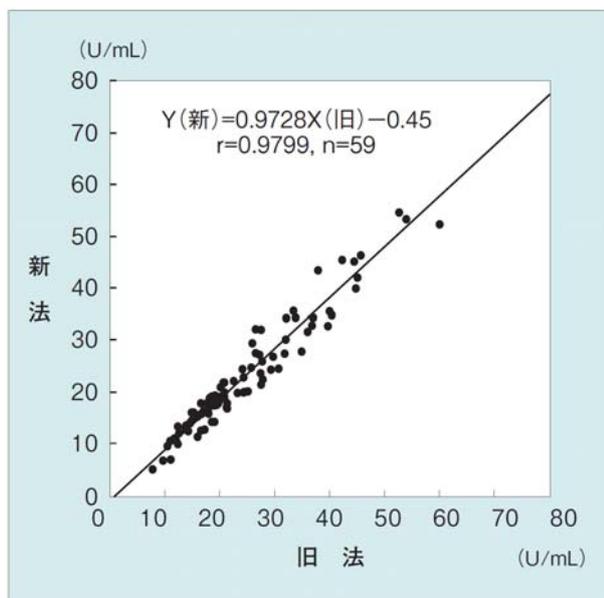
▼ 現法と新法の比較

[5317:レチノール結合蛋白(RBP)]



(委託先検討資料)

[2414:トロンボモジュリン]



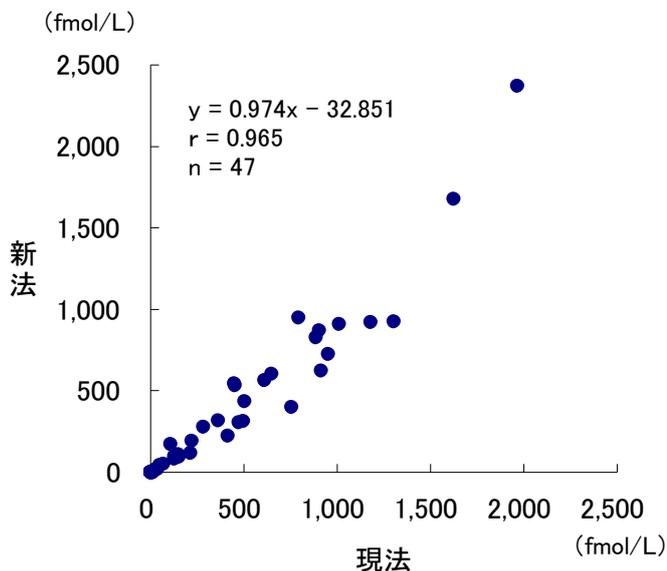
(委託先検討資料)

平成24年4月2日(月)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
1198	心筋トロポニンT (TnT)	基準値	0.012 以下 ng/mL	0.100 以下 ng/mL	基準値を「カットオフ値」から「正常人基準値」へ変更します。 尚、従来のカットオフ値については、検査案内備考欄への記載に変更させていただきます。	2
		所要日数	2 ~ 4 日	2 ~ 5 日		
		報告上限値	25.000 以上 ng/mL	9999.999 ng/mL		
		備考	急性心筋梗塞診断のカットオフ値: 0.100ng/mL	-		
(1028)	PSPクリアランス	受託形態	〈非定型受託項目へ変更〉		依頼僅少のため	22
4429	Pro GRP (ガストリン放出ペプチド前駆体)	基準値	81.0 未満 pg/mL	80.0 以下 pg/mL	ProGRP研究会の見解に基づく見直し	43
4048	神経特異エノラーゼ (NSE)	基準値	16.3 以下 ng/mL	12.0 以下 ng/mL	見直しにより、基準値等をメーカー推奨のものを採用します。	43
		保存方法	冷蔵	凍結		
		容器	A-1	G-1		
		備考	溶血不可 赤血球や血小板中にあるNSEが影響を与える恐れがありますので、採血後、血清分離は1時間以内に実施して下さい。	溶血不可		
4450	HCVコア蛋白 (HCV抗原)	検査方法	CLEIA 法	RIA 法	現行試薬の販売中止に伴う変更です。	60
		報告上限値	120000 以上 fmol/L	9999999 以上 fmol/L		

▼ 現法と新法の比較

[4450: HCVコア蛋白 (HCV抗原)]



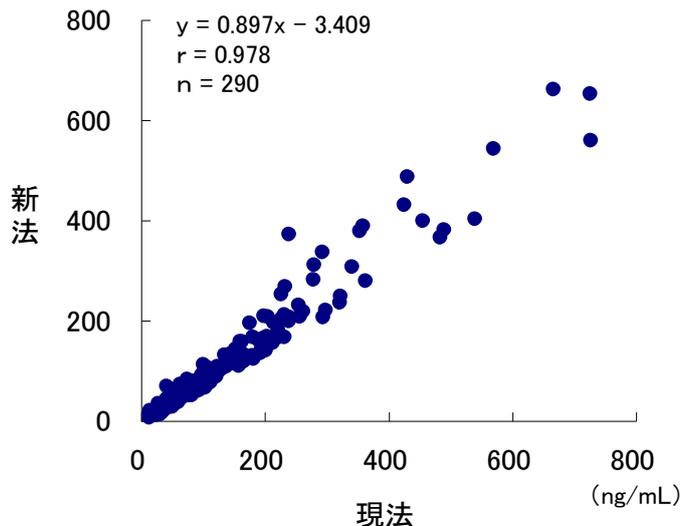
平成24年4月2日(月)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
4116	MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	検体必要量	0.5 mL	0.3 mL	精度に優れる検査方法へ変更します。尚、基準値はメーカー設定値です。	72
		検査方法	ラテックス凝集法	EIA 法		
		基準値	M 35.2~123.8 F 16.1~56.8 ng/mL	M 36.9~121.0 F 17.3~59.7 ng/mL		
		報告上限値	12000.0 以上 ng/mL	800.0 以上 ng/mL		
		報告下限値	4.1 以下 ng/mL	12.5 未満 ng/mL		
5737	TSHレセプター抗体human (TRAb-h)	受託形態	〈非定型受託項目へ変更〉		<代替項目> 5783:TSHレセプター抗体(第3世代)	77
6063	エオジン細胞鏡検	項目名称	鼻汁中好酸球	エオジン細胞鏡検	検査材料を明確にする為、項目名称等を見直します。受託要項自体の変更はありません。※	106
		検査材料	塗末標本	鼻汁標本		

※ 喀痰でのご依頼の場合は、右ページの新規受託の項目をご利用下さい。

▼ 現法と新法の比較

[4116:MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)]
(ng/mL)



(社内検討資料)

新規受託項目

平成24年4月2日(月)受託分より開始

項目コード	検査項目	検体必要量	保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料
6067	喀痰中好酸球	塗末標本	室温	ライト染色	(-)	2~4日	15血液

▼ 検査方法参考文献

レチノール結合蛋白(RBP) :古田島 伸雄, 他 :日本臨床検査自動化学会会誌 32(1) :84~88, 2007.

トロンボモジュリン :天野 景裕, 他 :臨床病理 39(9) :961~971, 1991.

HCVコア蛋白(HCV抗原) :福田 実可, 他 :医学と薬学 54(5) :677~682, 2005.

MMP-3 :田中 敏典, 他 :日本臨床検査自動化学会会誌 36(4) :666~666, 2011.

▼ 基準値参考文献

レチノール結合蛋白(RBP) :三浦 信樹, 他 :臨床病理 57(3) :195~199, 2009.

トロンボモジュリン :M. Takaya, et. al :Clinical and Experimental Rheumatology 9(5) :495~499, 1991.

心筋トロポニンT(TnT) :島田 俊夫, 他 :医学と薬学 63(5) :817~822, 2010.

平成24年3月30日(金)の最終受託をもって中止

項目コード	検査項目	中止理由	代替項目	検査案内書掲載ページ
5008	IGFBP-3 (インスリン様成長因子結合蛋白3型)	試薬販売中止	-	25

平成24年3月31日(土)の最終受託分をもって中止

項目コード	検査項目	中止理由	代替項目	検査案内書掲載ページ
1167	膵分泌性トリプシンインヒビター (PSTi)	試薬の販売中止のため	-	10
4539	尿中BFP (尿中塩基性フェトプロテイン)		-	41
4555	HCVコア抗体		4450:HCVコア蛋白(HCV抗原) 7001:HCV-RNA定量(リアルタイムPCR法)	60
4030	抗DNA抗体(PHA法)		4075:抗DNA抗体(RIA法) 4366:抗ss-DNA-IgG抗体 4368:抗ds-DNA-IgG抗体	73
6094	ヘモグロビン 1日法 (潜血MPA)	高精度な検査方法への統合のため	6521:ヘモグロビン(潜血金コロイド)定性 1日法 6522:ヘモグロビン(潜血金コロイド)定性 2日法	102
6114	ヘモグロビン 2日法 (潜血MPA)			